❷「初雪のふる日」（四年下）

玉川大学 通信教育部教職センター 教授
輿水かおり



第一回では、「読むこと」の教材研究の三つの視点（子どもの視点・読者の視点・指導者の視点）をご紹介しました。今回は、実際に教材を読んでいく過程を、担任の教師になったつもりで書いてみます。新しい教材、「初雪のふる日」（四年下）を取り上げました。

読者の視点で

まず、第一の読み、「読者」の立場で読む。もちろん音読。小さく声を出して。

ページを追うごとにうすら寒くなってきた。迷子になったときのような心もとなさ、だれかに助けを求めたいような不安感、恐怖感が募ってきた。112ページまで読んで、挿絵の色彩に救われたような気がした。なんとも不思議な話だ。「初雪がふる日」に特別に選ばれた子に起こる怖い話。

子どもの視点で

次に、第二の読みに取りかかる。「学習者」の立場からの読みである。

今までの学習経験から、子どもたちはきっと、こんな学習手順や学習内容をイメージすることだろう。

まず、学習活動を確認しよう。「作品のひみつをさぐろう」か。この作品に秘密があるのだ。「読み終えたときに心に残る感じは、どこから来るのでしょう。場面の様子を表す言葉や表現に着目して読みましょう。」…そうか、作品の秘密を解くカギは、場面の様子を表す言葉や表現にあるのだな。わたしの読後感も、作品に使われている言葉や表現から引き起こされたのか…。場面の様子に着目してもう一度読んでみよう。

そうだ、その前に「学習の手引き」を開いて、どんな方法で学習を進めるのか、確認してからにしよう。

①→詳しく読むためには場面を分けたほうがいいということだな。

あっ、秘密のカギを探す方法があったぞ。

▼→天気・色や触った感じ・大きさや数・繰り返しの表現・修飾語・文末表現。これを場面ごとに書き出してみよう。



私も、子どもの気持ちを想像しながら、場面分けし、カギの言葉や表現を書き出してみる。実際取りかかってみると、

・全体を何場面に分けたらよいか。
・場面の様子だけでなく、女の子の様子や行動からも読後感が引き出されるのではないか。
・書き出す前に、本文に囲みやサイドラインを入れて、カギの言葉や表現に印を付けたほうが効率的ではないか。
・どんなワークシートやノートを用意すれば、書き出しやすいだろうか。

など、指導展開や配慮点が自然に浮かんできた。

また、音読することで、辞書を使って調べさせたい語句や、「後がつかえる」「息をつく」など、注意したいアクセントにも気づいた。石けり・唱え歌・なぞなぞ・おまじないなどの遊びを実際に経験させたくなった。「くわしくする表現（修飾語）」の復習の必要性にも思い至り、三年生の学習を振り返らせたいと思った。

学習者の立場で読んでいたはずが、いつの間にか教材分析や学習活動、指導展開などにも踏み込んでいる自分に気づく。本当に、「教材研究八割達成」という感じである。

ここで、自分の囲みやサイドラインと朱書きの指導書を比べてみるとどうか。驚くことに、私のサイドラインや書き込みと朱書きには重なる部分があった。もちろん、気づけなかった点もあるが、私のオリジナルも。例えば、「――」の使い方に「繰り返し」と「後に続く言葉の省略もしくは、途切れ」の二種類が出ていること。女の子（生）の赤、うさぎ（雪・静・死）の白、寒さやおびえの青、春（よもぎ）の緑といった色彩の象徴性も感じられたこと。うれしくなってくる。

こうして、朱書きの指導書と比べてみると、いかに「自分の考えをもつ」ことが大切か身をもって実感することができる。子どもたちにも、ぜひこうした体験をさせたいと思えてくる。

指導者の視点で

いよいよ第三の読み、「指導者」の立場としての読みだ。

この教材は、「読む」に位置づけられた文学的文章。学習指導要領、中学年「読むこと」⑴ウ「場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読むこと」、オ「文章を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方について違いのあることに気付くこと」が主な指導の目標になるだろう。言語活動例ア「物語や詩を読み、感想を述べ合うこと」にも相当する学習だといえる。作者が意図をもって選び抜いた言葉を味わうという意味では、国語科の目標「…思考力や想像力及び言語感覚を養い、…」に深く関わる価値をもつ教材ということもできる。

実際の授業での手立てを考える際には、これらの学習要素を身につけさせることを念頭におけばよいということだ。

いかがでしたか。今回は、「子ども」の視点での読みに重きを置いてみました。他教材と関連させる、子どもたちの実態を踏まえるなど、次回以降も、重点をさまざまに変えた教材研究をご紹介していきたいと思います。

こしみず・かおり　広島県生まれ。二十三年の教員生活の後、港区教育委員会指導主事、東京都教育庁主任指導主事、小学校校長等を経て、現職。光村図書小学校「国語」教科書の編集委員を務める。